



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日
東

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪内 茂行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 石野 栄一 (TEL) 06-6411-1238
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	4,040	2.9	13	△88.8	8	△92.6	25	△75.2
2018年3月期第3四半期	3,926	2.3	117	△7.1	118	3.1	100	7.1

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 11百万円(△90.5%) 2018年3月期第3四半期 120百万円(19.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	2.13	—
2018年3月期第3四半期	8.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	5,351	1,208	21.9
2018年3月期	5,144	1,220	23.1

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 1,170百万円 2018年3月期 1,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	3.1	65	△38.7	55	△46.6	40	△51.8	3.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	12,317,000株	2018年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	549,004株	2018年3月期	548,954株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	11,768,002株	2018年3月期3Q	11,768,047株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国政権における政策不安や米中の貿易摩擦の長期化、不安定な欧州情勢等世界経済への影響が懸念され、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設向は、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数が73.7万戸(前年同四半期比0.5%減)と全体として住宅着工は弱含みであり、特に利用関係区分で貸家は低調に推移しました。また、鋼材等の資材価格が2017年下期以降高騰しておりますが、販売価格への転嫁が十分でなく、一方で価格競争が更に激しくなりました。電気・輸送機器向ネジは、OA機器関連等で海外での現地調達、一部国内回帰し、また自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機械向のライセンス製品の需要は、引き続き堅調に推移しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,040百万円(前年同四半期3,926百万円、2.9%増)となりました。営業利益は、電気・輸送機器向は、売上げの増加もあり、前年同四半期に比べ増益となりましたが、建設・梱包向は、鋼材等の資材価格の高騰や輸入商品価格・運賃等の値上がりがあり、販売価格への転嫁を図ったものの、十分でなく、また生産性の向上による製造コストの低減等を図ったものの固定費を吸収できず、13百万円(前年同四半期117百万円)となりました。経常利益は、借入金金利の圧縮に努めたものの8百万円(前年同四半期118百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として、2018年9月の台風21号の災害に対しての受取保険金30百万円、特別損失として災害に伴う損失10百万円(資本的支出を除く)を計上したことにより、25百万円(前年同四半期100百万円)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、釘を多く使用する2×4等の木造住宅着工戸数は前年四半期累計期間と比べ減っているものの、当セグメント売上高は、一部製品の販売価格の値上げ、販売量の増加等により増収となり、3,197百万円(前年同四半期3,128百万円、2.2%増)となりました。利益面では、鋼材価格等の高騰に対して、十分な価格転嫁ができなかったため大幅な減益を余儀なくされ、セグメント利益は前年同四半期に比べ109百万円減少し、136百万円となりました。

(電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、弱電・OA機器向等は海外での現地調達が定着しましたが、内需ニーズとして、品質重視の傾向のなか、自動車をはじめ輸送機器関連部品や産業機器向の付加価値の高いライセンス製品の需要は順調に推移しました。この結果、当セグメントの売上高は、842百万円(前年同四半期797百万円、5.7%増)となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ8百万円増加し、30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,351百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比207百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ285百万円増加し、3,344百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が200百万円、商品及び製品が82百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ78百万円減少し、2,006百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資63百万円に対して、減価償却費が127百万円であり、投資有価証券が当第3四半期連結会計期間末の株価の下落により、25百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は、前年度末に比べ219百万円増加し、4,142百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ231百万円増加し、2,862百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が82百万円、短期借入金が132百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前年度末に比べ11百万円減少し、1,280百万円となりました。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,725百万円(前年度末比119百万円増)となりました。これは、短期借入金の純増が104百万円であり、長期借入金の返済が416百万円に対して、借入が432百万円であったこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、1,208百万円となり、前年度末に比べ12百万円減少しました。これは当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益が25百万円であるのに対して、配当金の支払いが23百万円あり、その他有価証券評価差額金が、株価の下落により、前年度末に比べ17百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の23.1%から21.9%となり、1株当たり純資産は100.84円から99.45円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期連結業績予想につきましては、第3四半期の連結業績を勘案し、また第4四半期においては、住宅メーカーからの需要増による売上高の増加が見込まれ、販売価格の未是正先の値上げや製造及び輸入調達コストの低減により、2018年11月9日公表値の範囲内となることが見込めるため、修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,045	512,439
受取手形及び売掛金	1,285,599	1,485,836
電子記録債権	119,309	150,013
商品及び製品	634,812	717,262
仕掛品	200,267	250,080
原材料及び貯蔵品	222,490	208,551
前払費用	12,890	12,345
その他	1,489	11,733
貸倒引当金	△3,651	△3,729
流動資産合計	3,059,253	3,344,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	455,193	437,095
機械装置及び運搬具（純額）	576,762	540,805
土地	733,542	733,542
その他（純額）	33,837	39,880
有形固定資産合計	1,799,336	1,751,324
無形固定資産		
ソフトウェア	70,863	57,880
その他	0	0
無形固定資産合計	70,863	57,880
投資その他の資産		
投資有価証券	110,366	84,668
長期前払費用	2,850	1,432
繰延税金資産	9,835	17,715
その他	103,700	105,840
貸倒引当金	△12,036	△11,991
投資その他の資産合計	214,717	197,666
固定資産合計	2,084,916	2,006,871
資産合計	5,144,170	5,351,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	749,561	831,672
電子記録債務	104,854	135,385
短期借入金	1,549,418	1,681,904
未払法人税等	5,955	785
未払消費税等	11,399	9,538
未払費用	53,309	49,070
賞与引当金	36,238	25,780
役員賞与引当金	9,180	—
その他	111,340	128,140
流動負債合計	2,631,257	2,862,276
固定負債		
長期借入金	1,056,540	1,043,924
繰延税金負債	6,913	3,934
役員退職慰労引当金	37,085	43,018
退職給付に係る負債	188,311	186,233
資産除去債務	3,498	3,512
固定負債合計	1,292,349	1,280,623
負債合計	3,923,606	4,142,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	558,394	559,924
自己株式	△49,061	△49,068
株主資本合計	1,164,731	1,166,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,912	4,077
その他の包括利益累計額合計	21,912	4,077
非支配株主持分	33,919	38,173
純資産合計	1,220,563	1,208,505
負債純資産合計	5,144,170	5,351,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	3,926,329	4,040,660
売上原価	3,167,917	3,361,577
売上総利益	758,412	679,083
販売費及び一般管理費	640,476	665,831
営業利益	117,936	13,251
営業外収益		
受取利息	15	9
受取配当金	1,731	3,865
助成金収入	2,429	—
保険解約返戻金	2,661	—
保険金収入	5,343	—
その他	6,447	6,314
営業外収益合計	18,628	10,189
営業外費用		
支払利息	14,960	12,779
その他	3,527	1,919
営業外費用合計	18,488	14,699
経常利益	118,076	8,742
特別利益		
固定資産売却益	100	—
受取保険金	—	30,828
特別利益合計	100	30,828
特別損失		
固定資産除却損	3,295	616
災害による損失	—	10,539
特別損失合計	3,295	11,155
税金等調整前四半期純利益	114,880	28,415
法人税、住民税及び事業税	11,604	2,184
法人税等調整額	△194	△3,087
法人税等合計	11,409	△903
四半期純利益	103,471	29,319
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,513	4,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	100,958	25,066

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益	103,471	29,319
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,052	△17,834
その他の包括利益合計	17,052	△17,834
四半期包括利益	120,523	11,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,010	7,231
非支配株主に係る四半期包括利益	2,513	4,253

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,128,510	797,819	3,926,329	—	3,926,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	158	13,163	13,321	△13,321	—
計	3,128,668	810,982	3,939,651	△13,321	3,926,329
セグメント利益	245,769	22,074	267,844	△149,908	117,936

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	267,844
セグメント間取引消去	△77
全社費用(注)	△149,830
四半期連結損益計算書の営業利益	117,936

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,197,663	842,997	4,040,660	—	4,040,660
セグメント間の内部売上高 又は振替高	424	18,989	19,414	△19,414	—
計	3,198,088	861,986	4,060,074	△19,414	4,040,660
セグメント利益	136,561	30,742	167,304	△154,052	13,251

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,304
セグメント間取引消去	△50
全社費用(注)	△154,002
四半期連結損益計算書の営業利益	13,251

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績及び仕入実績

当第3四半期連結累計期間における生産高及び仕入実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	生産高及び仕入実績(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	2,755,782	+13.0
電気・輸送機器向	690,438	△0.3
合計	3,446,220	+10.1

(注) 1 金額は、生産高は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,254,439	+3.9	372,618	+3.0
電気・輸送機器向	875,233	+11.9	155,858	+23.3
合計	4,129,672	+5.5	528,477	+8.2

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	3,197,663	+2.2
電気・輸送機器向	842,997	+5.7
合計	4,040,660	+2.9

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第3四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績に対する割合は次の通りであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	904,904	23.0	836,463	20.7

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。